

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
会計学研究A	1・2年次春学期 (1・3セメスター)	2	梅田 守彦
授業概要			
国際的調和化、さらには統一化の動きを受けて、企業会計は大きな変革を余儀なくされている。この授業では、次々と提唱される新たな会計実践の合理性を判断することができるような基礎力を涵養することを目的としている。ここでは財務諸表の個別論点のいくつかについて検討したのちに、個別企業の財務分析を試みることにしたい。			
授業目標(到達目標)			
春学期に開講されるこの授業では、標準的テキストを用いて、現代の会計実践についての理解を深めていく。そのさいには、理論を表面的になぞるのではなく、仕訳なども確認しながら具体像をつかむことをつねに意識するようにしたい。			
授業方法			
基本文献の輪読を中心に進めていく			
成績評価方法・基準			
予習復習の程度、授業中の発言等により評価する			
教科書・教材・参考文献 等			
『ゼミナール現代会計入門』第8版 伊藤邦雄 日本経済新聞出版社			
質問への対応(オフィスアワー等)			
授業時間中ならびにオフィスアワー(木曜2限 梅田研究室)等で対応する			
授業計画			
	項目	内容	
1	企業会計の基礎理論Ⅰ	会計制度について	
2	企業会計の基礎理論Ⅱ	ディスクロージャーについて	
3	損益計算書Ⅰ	損益計算書の基礎	
4	損益計算書Ⅱ	企業業績の測定	
5	貸借対照表Ⅰ	資産の会計処理についてⅠ	
6	貸借対照表Ⅱ	資産の会計処理についてⅡ	
7	貸借対照表Ⅲ	負債の会計処理について	
8	貸借対照表Ⅳ	純資産の会計処理について	
9	時価評価の会計Ⅰ	金融商品の会計処理について	
10	時価評価の会計Ⅱ	退職給付の会計処理について	
11	企業グループの会計Ⅰ	連結財務諸表の作成の基礎Ⅰ	
12	企業グループの会計Ⅱ	連結財務諸表の作成の基礎Ⅱ	
13	企業グループの会計Ⅲ	連結財務諸表の分析Ⅰ	
14	企業グループの会計Ⅳ	連結財務諸表の分析Ⅱ	
15	まとめ	各自が選択した1社の財務分析の報告	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
会計はとくに積み重ねが重要になってきます。面倒でもきちんと予習復習を進めてください。			